



ハンガリー国立フィル創立100周年記念コンサート

小林研一郎 指揮

ハンガリー国立フィル

ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団

Conductor: Ken-ichiro Kobayashi (conductor laureate) Hungarian National Philharmonic Orchestra

現代を熱く駆けるマエストロが謳い上げる、時代を強靱に生き抜いた作曲家たちの魂



©Hargitay Olivér



千住真理子
(ヴァイオリン)
1/16公演
Mariko Senju
Violin

© Kiyotaka Saito



小林研一郎 (指揮)

Ken-ichiro Kobayashi, Conductor

(ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団 桂冠指揮者)

© 三浦興一



仲道郁代
(ピアノ)
1/17公演
Ikuyo Nakamichi
Piano

© Kiyotaka Saito

新年の幕開けを告げる“新世界”

2023年1月16日(月) 19:00開演 (18:20開場 21:00終演予定)
7:00p.m., Monday, January 16, 2023 at Suntory Hall

ベートーヴェン:「エグモント」序曲
ブルッフ:ヴァイオリン協奏曲第1番
(ヴァイオリン:千住真理子)

ドヴォルザーク:交響曲第9番「新世界より」

Beethoven: "Egmont" Overture
Bruch: Violin Concerto No.1 in G-minor Op.26
Mariko Senju, Violin

Dvořák: Symphony No.9 in E minor,
'From the New World' Op.95



文化庁 文化芸術活動支援事業

王道の名曲プログラム

1月17日(火) 19:00開演 (18:20開場 21:00終演予定)
7:00p.m., Tuesday, January 17, 2023 at Suntory Hall

ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第5番「皇帝」
(ピアノ:仲道郁代)

チャイコフスキー:交響曲第5番

Beethoven: Piano concerto No. 5 in E-flat Major Op.73 "Emperor"
Ikuyo Nakamichi, Piano
Tchaikovsky: Symphony No.5 in E minor, Op.64

サントリーホール

東京メトロ有楽町線山王駅13番出口徒歩10分
東京メトロ六本木線一丁目駅3番出口徒歩5分

S ¥14,000 A ¥11,000 B ¥9,000 C ¥7,000 D ¥5,000 (税込) 一般発売 9月24日(土) ジャパン・アーツぴあオンラインチケット 9月17日(土)

ジャパン・アーツぴあ 0570-00-1212 www.japanarts.co.jp/ サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017

主催: ジャパン・アーツ

チケットぴあ t.pia.jp <Pコード:226-161> イープラス eplus.jp ローソンチケット l-tike.com <Lコード:35657>

後援: 駐日ハンガリー大使館

※ 料金には消費税が含まれております。 ※ 特別割引料金については裏面をご確認下さい。 ※ 先行発売で満席となった場合は、以降発売されない場合がございます。

リスト・ハンガリー文化センター

ハンガリーに愛されるマエストロ。
ハンガリー国立フィルとの深き絆を熱演で示し、
聴き手の心を震わせる

小林研一郎(愛称コバケン)はハンガリーに愛されるマエストロである。いまや町を歩けば人々から「マエストロお元気ですか、昨日の演奏よかったですよ」と声をかけられる。ハンガリーにすっかり溶け込んでいるのである。

「ハンガリー国立フィルは、コンクールで優勝したばかりの僕に指揮を任せてくれた。その熱意に応えなくてはと、ずっと全精力を注いできました。僕は常にアブノーマルな響きをオーケストラから引き出したい。聴衆を別世界へいざなう幻想的な演奏をしたいのです」

こう語る彼の情熱的で真摯でひたむきな演奏姿勢は「炎のマエストロ」と称される。だが、実際の演奏は楽譜の裏側に迫る知的で冷徹で洞察力に富む眼が備わったもの。どんなに激しく強靱な音をオーケストラから導き出そうと、自身はペシミスティック

(厭世的、悲観的)な性格を前面に現し、作品の内奥に肉薄し、作曲家が音符に込めた苦悩や悲劇や慟哭を代弁していく。そこにはこれまで聴いたことのない世界が広がり、聴き手の心を震わせる。

ソリストとして参加する千住真理子は、ストラディヴァリウスの名器「デュランティ」(1716年製)とともにブルッフのヴァイオリン協奏曲第1番を演奏。千住は「デュランティ」を得てから人生を見直し、音楽人生をひたすら深めている。一方、仲道郁代はベートーヴェンをライフワークのひとつとし、今回はピアノ協奏曲第5番「皇帝」で真意に肉薄。とりわけ第2楽章の美しさは格別だ。

いずれの演奏もコバケンはいま生まれたばかりの作品に對峙するような思いを抱き、オーケストラから清新な響きを引き出す。その新風を全身にまとうと聴き手も活力と勇気が与えられ、至福の時を過ごすことができる。さあ、音楽から愛と情熱を受け取りましょう！

伊熊よし子 (音楽評論家)



小林研一郎 (桂冠指揮者)
Ken-ichiro Kobayashi, Conductor Laureate

“炎のコバケン”の愛称で親しまれる日本を代表する指揮者。東京藝術大学作曲科、及び指揮科の両科を卒業。1974年第1回バベスト国際指揮者コンクール第一位、及び特別賞を受賞。2002年ブラハの春音楽祭では東洋人初のオープニング「わが祖国」を指揮して万雷の拍手を浴びた。

これまでにハンガリー国立フィル、チェコ・フィル、アーネム・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、フランス国立放送フィル、ローマ・サンタ・チェチーリア国立管、ロンドン・フィル、ハンガリー放送響、N響、読響、日本フィル、都響等の名立たるオーケストラと共演を重ね、数多くのポジションを歴任。

ハンガリー政府よりハンガリー国大十字功労勲章(同国で最高位)等、国内では旭日中綬章、文化庁長官表彰、恩賜賞・日本芸術院賞等を受賞。

2005年、社会貢献を目的としたオーケストラ「コバケンとその仲間たちオーケストラ」を設立、以来全国にて活動を行っている。

CD、DVDはオクタヴィア・レコードより多数リリース。著書に『指揮者のひとりごと』(日本図書協会選定図書)等がある。

現在、日本フィル桂冠名誉指揮者、ハンガリー国立フィル・名古屋フィル・群響桂冠指揮者、読売日響特別客演指揮者、九響名誉客演指揮者、東京藝術大学・東京音楽大学・リスト音楽院名誉教授、ローム ミュージック ファンデーション評議員等を務める。

オフィシャル・ホームページ
<http://www.it-japan.co.jp/kobaken/>



千住真理子 (ヴァイオリン)
Mariko Senju, Violin

*1月16日公演出演

2歳半よりヴァイオリンを始める。全日本学生音楽コンクール小学生の部全国1位。NHK交響楽団と共演し12歳でデビュー。日本音楽コンクールに最年少15歳で優勝、レウカディア賞受賞。バガニーニ国際コンクールに最年少で入賞。2002年秋、ストラディヴァリウス「デュランティ」との運命的な出会いを果たし、話題となる。2020年はデビュー45周年を迎え、各地で記念演奏会を行う。2021年7月にアルバム「蛍の光〜ピースフル・メロディ」をリリース。2022年9月には最新アルバム「ボエジー」をリリース予定。

コンサート活動以外にも、講演会やラジオのパーソナリティを務めるなど、多岐に亘り活躍。また、チャリティーコンサート等、社会活動にも関心を寄せている。著書は「聞いて、ヴァイオリンの詩」(時事通信社、文藝春秋社文春文庫)母との共著「母と娘の協奏曲」(時事通信社) など多数。

オフィシャル・ホームページ
<https://www.marikosenju.com/>



仲道郁代 (ピアノ)
Ikuyo Nakamichi, Piano

*1月17日公演出演

第51回日本音楽コンクール第1位、ジュネーヴ国際音楽コンクール最高位、エリザベート王妃国際音楽コンクール入賞。ピッツバーク響、バイエルン放送響、フィルハーモニア管、ドイツ・カンマーフィル等、海外のオーケストラと共演多数。CDはレコード・アカデミー賞受賞CDを含む「仲道郁代ベートーヴェン集成〜ピアノ・ソナタ&協奏曲全集」「ドビュッシーの見たもの」他。著書に『ピアニストはおもしろい』(春秋社) 他。

ベートーヴェン没後200周年の2027年に向けて「仲道郁代 The Road to2027リサイタル・シリーズ」を展開中。

一般社団法人音楽がヒラク未来代表理事、一般財団法人地域創造理事、桐朋学園大学教授、大阪音楽大学特任教授。令和3年度文化庁長官表彰、ならびに文化庁芸術祭「大賞」を受賞。

オフィシャル・ホームページ
<http://www.ikuyo-nakamichi.com>

ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団
Hungarian National Philharmonic Orchestra

1923年に創立以来、ブダペスト音楽界の中心的な役割を担ってきたハンガリーを代表するオーケストラ。これまでにフリッツ・チャイ、クレンペラー、ドラティ、フェレンツェク、アンセルメ、メータ、マゼール、バルビローリ、ストコフスキー、アバドなどの指揮者と共演。1987年から10年間、小林研一郎が常任指揮者や音楽監督などを務め、2016年よりジョルト・ハマーが音楽監督に就任。世界各地からの招聘を受け、この15年間に40数カ国で350回以上の公演を行っている。

ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団
日本公演スケジュール 2023年

共演：☆千住真理子(ヴァイオリン) ★藤田真央 (ピアノ)

1/18(水) 福岡シンフォニーホール☆
(問) アクロス福岡チケットセンター 092-725-9112

1/19(木) 愛知県芸術劇場コンサートホール☆
(問) テレビ愛知事業部 052-229-6030

1/21(土) 鎌倉芸術館★
(問) 神奈川芸術協会 045-453-5080

1/22(日) ザ・シンフォニーホール★
(問) ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000

Twitterでフォローする
@japan_arts

<特別割引チケットのご案内> (ジャパン・アーツびあコールセンター及びジャパン・アーツびあオンラインチケットで受付)

◎シニア・チケット：65歳以上の方は\$¥13,000・A¥10,000にてお求めいただけます。

◎学生席 (各ランクの半額/座席の指定が可能です)
残席がある場合に限り、12月15日(木) 10:00より受付を開始いたします。
※社会人学生を除く公演当日25歳までの学生が対象です。公演当日入口または窓口にて学生証を拝見させていただきます。学生証が無い場合は一般料金との差額を頂戴いたします。(ジャパン・アーツびあコールセンター及びジャパン・アーツびあオンラインチケットにて受付)

◎車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。(ジャパン・アーツびあコールセンターのみで受付)

次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さいませ。

①やむを得ない事情により、曲目・曲順・出演者等が変更になる場合がございます。②公演中止の場合を除き、お求め頂きましたチケットのキャンセル・変更等はできません。③いかなる場合も再発行できません。紛失等には十分ご注意下さい。④演奏中は入場できません。⑤未就学児の同伴はご遠慮下さい。なお就学児以上の方もご入場には1人1枚チケットが必要です。⑥全指定席です。指定の座席にてご鑑賞下さい。⑦場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。⑧ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑨他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。⑩公演実施の可否は新型コロナウイルス感染状況を見極めて慎重に判断させていただきます。